**イノベーションユース事業報告書（2023年度）**

2024年4月30日

イノベーションユース組織委員会

**1. 事業概要**  
2023年度も引き続き、イノベーションユースは日本国内の中高生を対象とした育成型プロジェクトとして活動を展開しました。本年度は、昨年度の経験を踏まえ、プログラム内容の充実と新たな取り組みを実施しました。また、ASOC（Asian Scholars Online Consortium）E-Conferenceに参加することで、国際的な視野を広げる機会を提供しました。

**2. 活動内容**

* **中高生の研究発表シンポジウム**
  + **人数:** 50名
  + **対象国:** 日本
  + **年齢層:** 10代（主に高校生）
  + **ボランティア:** 20名
  + **開催日:** 2023年7月20日
  + **場所:** 対面およびオンラインのハイブリッド開催
* **ASOC E-Conference**
  + **人数:** 100名
  + **対象国:** 日本、台湾、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ
  + **年齢層:** 10代～20代（高校生、大学生、大学院生）
  + **ボランティア:** 20名
  + **開催日:** 2023年8月10日
  + **場所:** オンライン開催
* **メンターシッププログラム**
  + **内容:** 昨年度に引き続き、各参加者に対し、専門家からの個別指導とアドバイスを提供。

**3. 成果**

* **シンポジウムの発展**
  + 昨年度に続き、50名の中高生が研究発表を行いました。特に今年は対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式で実施し、参加者間の交流がより活発になりました。
* **ASOC E-Conferenceへの参加**
  + 初めての国際的な発表機会となるASOC E-Conferenceに100名が参加し、異なる国籍・文化背景を持つ参加者同士でのディスカッションが行われました。これにより、参加者の国際的な視野が広がりました。
* **メンターシップの継続的成功**
  + メンターシッププログラムが、参加者の研究に対する理解を深め、自信を持って発表できる力を育成する上で大きく寄与しました。

**4. 課題と展望**

* **課題:** 国際的な交流機会の増加に伴い、参加者間の言語の壁や文化的な違いに対するサポートが求められるようになりました。
* **展望:** これらの課題に対応するため、言語サポートの充実や異文化理解プログラムの導入を検討しています。また、今後はさらに多様な国・地域との連携を強化し、プログラムの国際性を高めたいと考えています。

**5. 評価**

* **評価:** 参加者や関係者からは、「国際的な視野が広がった」「多くの国の学生と意見交換ができた」との高い評価を得ており、今後も継続的に発展が期待されています。